

【第二回総会 議事録】

開催日時・場所

- 日時：2026年3月20日（金・祝）13時～14時
- 場所：オンライン開催

出席者・定足数の確認

- 出席者：石田直章、吉田進、古城資久、城隆志、大堂秀樹、瀬尾桂一、宇城元、吉田寿子、岡田有史、中元伊知郎、佐藤勇介、吉田彫子
- 欠席者：高橋省吾（委任状提出）

議事運営役員

- 議長（進行）：吉田彫子
- 議事録作成人：吉田彫子
- 議事録署名人：城隆志、大堂秀樹

1. 議事内容

第1号議案：新役員人事に関する報告

- 石田直章理事長が規定（70歳）に基づき退任することが報告された。
- 先の理事会において、後任の新理事長に柿崎氏が承認された旨が報告された。
- 新設される会長職に園崎氏（衆議院議員）が就任することが報告された。
- 退任する石田氏は、議決権を持つ特任理事として引き続き連盟に残ることが報告され、承認された。

第2号議案：2025年度報告および2026年度方針（各委員会より）

(1) 強化委員会（報告者：吉田進 強化委員長）

- 組織再編：強化委員会内に6つの部会（選手強化、コーチ管理、記録管理、動作解析、ルールと文書管理、選手選考）を設け、体制を明確化した。
- 2025年度実績：チャレンジカップ（36名参加、日本新4名）、世界選手権エジプト大会（11名参加）、全日本選手権等の活動報告が行われた。
- 2026年度目標：
 - 4月のアジア・オセアニア選手権（タイ）では8名が参加予定。全員の12位以内、うち2名の8位以内入賞を目指す。
 - 10月のアジアパラゲームスには6名の参加と、全員の自己新記録達成を目指す。
- 強化方針・施策：
 - FTEMを引き続き導入し、パラ標準記録に基づき強化選手のレベル分けを明確にする。

- 指導者育成のため、保護者や地域の関係者を巻き込むコーチ・サポーター枠を新設する。
- 選手の成長推移やコーチの指導状況をデータ化し共有するための「選手カルテ」を新たに導入。「コーチカルテ」は検討中であることが共有された。

(2) 地域育成委員会（報告者：吉田彫子 ※岡本委員長代理）

- **2025年度活動**：未開拓の西日本を中心とした5地域（大阪、鳥取、山口、香川、佐賀）で普及キャラバンを実施した。
- **今後の方針**：引き続き西日本でのモデルケース確立を目指す。地域のスポーツ協会やキーマンと連携し、クラブチーム化や拠点づくりを推進する。

(3) 事務局・組織改編（報告者：吉田彫子）

- **協賛獲得実績**：業務委託の佐藤氏を中心に営業活動を行い、今年度は新規に9件（現金協賛6件・約255万円、物品・サービス協賛3件）合計**約465万円相当の協賛を獲得**した。
- **人事異動**：佐藤氏はアジアパラゲームス専属スタッフとなるため3月末で業務委託を終了し、4月より後任が着任する予定。
- **組織改編**：団体の価値を高め役割を明確にするため、来年度から体制を「選手強化部」「大会・競技価値創造部」「地域育成委員会」「事務局」の4部門体制に再編することが理事会で承認され、総会で報告された。

第3号議案：退任挨拶

- 石田前理事長より、4年間の任期における取り組みの振り返りと、今後のパラパワーリフティング連盟のさらなる発展・拡充に向けた期待と感謝の辞が述べられた。

2. 質疑応答・その他

- **名刺作成の要望**：吉田進委員長より、新会長、新理事長、特任理事の3名分の名刺を作成するよう事務局に依頼があった。
- **アスリート委員会の抱負**：宇城委員長より、今後より一層選手の声を集約し、各委員会と連携して活動を推進していく旨の報告があった。
- **アジアパラゲームスに関する懸念と共有事項**：
 - 大堂氏より、中東情勢によるアジアパラゲームスへの参加辞退国等の影響について質問があった。吉田進委員長より、現時点では辞退国の情報は入っていないとの回答があった。
 - 大会観戦チケットは有料販売が行われる旨が共有され、連盟関係者にも観戦・応援が呼びかけられた。


3. 閉会

以上をもって、予定されていた全議題が終了し、本総会は閉会した。

以上、本総会の議事内容を証明する。

議事録承認者

令和8年3月22日

城 隆志 

大堂 秀樹 